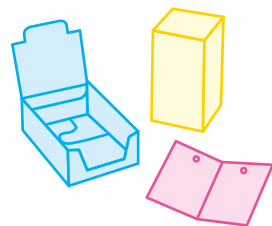


紙器設計 ～設計から抜き工程まで～

当社では箱や台紙、POP スタンド、緩衝材の設計も行っています。設計のみやサンプルのみという場合もございますが（ただし、設計料やサンプル制作料を頂戴いたします）、今回は設計から抜型を発注するまでの一連の流れをご紹介しますと思います。



現場をご紹介します☆

1 図面設計



CADソフトを使って図面設計をしています。当社では主にオリジナルの箱を取り扱っておりますが、サンプルからの図面起こしも行っております。

2 サンプルカット



サンプルカッターを使ってサンプルを切っていきます。材質や紙厚もお客様の使用環境にあったものをご提案いたします。

3 校正確認



社内校正をした後、お客様にホワイトサンプル（図面設計したものをサンプルカッターでカットしたもの）をご確認していただきます。

4 図面チェック



お客様からOKをいただきましたら、ホワイトサンプルと図面データが合っているかチェックしていきます。

5 抜型発注



問題がなければ抜型屋さんに発注をかけます。

こんな感じで抜型が送られてきます

6 抜き工程へ



抜型が完成したら図面データと抜型が合っているかチェックして次工程の抜きに移します。

変わった箱をご紹介します!

お土産屋さんに行くと変わった箱をよく見かけます。中身はもちろんのこと、外見の箱が良いと思わず手に取ってしまいますよね。やはり売れる商品は形状、デザインが大事だと思います。

このような記事は、当社 HP「広報ブログ」でもご紹介しておりますので興味のある方はぜひこちらをご覧ください。→ <http://kesho-bakoya.blogspot.com/>

- a) バームクーヘンの箱。持ち運びやすいように取っ手がついています。
- b) チーズケーキの箱。箱と仕切りが一体になっていて、組立てがとても楽で良いですね。
- c) ラスクの箱。チューリップの形をしています! 珍しい!
- b) 焼き菓子の箱。ロゴやイラストがとてもかわいいです。色使いも落ち着いた感じでオシャレですね。



さんぽ

11月にもなると随分寒くなり、体調を崩しやすい時期になります。インフルエンザにかからない様、日々気を付けていきたいものです。
そんな私が最近始めたのが散歩。6歳になった娘と寄り道をしながら延々と歩きます。花を見たり、虫に追いかけられたり、ジョギングしているおじさんを全力で追いかけて、9時に家を出て帰るのが12時頃になるなんて事が結構あります。中々ハードです。

お陰で(?)私も娘も今のところ病気に元気に過ごしています。これから雪が降ってくると散歩もできなくなるので代わるものを考えなくてはと思っています。

秋の夜長

長谷川 崇

芸術の秋ですね。この前川柳の話がでたので、気分転換に考えてみました。限られた文字数の中で表現をすることの難しさを改めて感じました。だからこそ、短い言葉の中には感銘をうけるものが多いのかもしれないですね。

考えてみれば、何が言いたいのかわからない長い文章、着地点を失った長話。嫌悪感こそ生まれても、全く感銘をうけることがない気がしてきました。秋の夜長といいますが、たまにはテレビを消して日頃の自分を見直したい季節かもしれないですね。

編集後記

遠藤 昭紀子

先日紅葉に行ってきた。ライトアップで水面に「逆モミジ」が映っていてとてもキレイでした。



渡辺 絵里香